

# 市 政 方 針

詳政策推進課 Ⅷ(3)6039

第19回市議会定例会で、岩倉市長は平成31年度の市政方針と予算案を説明しました。市政方針では、苦小牧に暮らす全ての皆さんが、それぞれの能力を發揮し、夢を描くことができるまちづくりを挑戦していく決意を表明しました。市政運営に臨むに当たり、総合計画に基づいた取り組みとして、基本政策として2項目、重点施策として8項目、主要施策として5つのまちづくりの目標に沿った施策を掲げました。

## 私

は、このまちに暮らす全ての皆さんが、ぬくもりを感じ、将来を思い描いたときに自然と笑顔になれるまちにしたいという思いを、「warm heart! わくわくのこころ」という言葉に込めてきました。みんなで支え合い、助け合う、ささやかな心遣いが響き渡り、安心して暮らしていけるコミュニティの実現を市民の皆さんと共に目指します。

また、これまで北海道経済をけん引する産業拠点都市として成長してきた本市においても、人口減少と少子高齢化による影響が見込まれ、財政基盤のさらなる強化が求められます。

持続可能な財政運営はもとより、将来も安心して生活できるまちを目指して、ものづくり産業のさらなる展開、臨海ゾーンにおけるロジスティクスの展開、そして臨空ゾーンにおけるIR（カジノを含む統合型リゾート）を含めた国際観光リゾートの展開に向けて戦略的な取り組みを進めます。



いわくら ひろふみ  
苦小牧市長 岩倉 博文

## 基本政策

### 1 市民によるまちづくりの推進

地域活動の促進については、町内会との協働の在り方を時代の変化に対応すべく対話を重ねるとともに、町内会活動の活性化につながる支援や活動拠点の整備などを実施します。町内会をまちづくりにおける重要なパートナーとして位置づけ、将来にわたり持続可能な関係づくりを進めます。

市民自治の推進については、市民や関係団体などとまちづくりに関する情報共有を図り、連携を深めていく中で、市民参加と協働によるまちづくりを進めます。また、まちかどミーティングやまちづくりトークなどの広聴事業を通じ、市民と

行政との対話を充実させ、市民の声をま

づき、健全性を確保しつつ、持続可能な財政運営に努め、さらなる基盤強化に取り組めます。

ちづくりに生かしていくとともに、市民の声を見える化に取り組めます。

また、「行政改革プランNEXTS TAGER」が最終年度を迎えます。仕

組みづくりを進めます。

また、働きやすい職場環境を目指した企業を表彰するほか、若年層を対象としたDV防止啓発事業などにも取り組み、男女平等参画社会の構築に向けた歩みを進めます。

### 2 健全な行政運営の推進

行財政運営については、税収および税外収入の確保に向けた取り組みを進めるとともに、新たに策定した「財政基盤安定化計画 Second Stage」に基

づく、健全性を確保しつつ、持続可能な財政運営に努め、さらなる基盤強化に取り組めます。

さらに、国民健康保険事業において、

## 重点施策

### 1 持続可能なまちに向けた都市機能の強化

#### 1 保健予防対策の充実

保健予防対策の充実については、みんなで健幸大作戦！を実施します。

- Smart Check: 健診・検診の受診
- Smart Eat: 適切な食生活
- Smart Breath: 禁煙
- Smart Walk: 適度な運動

さらに、国民健康保険事業において、